

サービス等利用計画

利用者氏名	三原 太郎 様	障害支援区分	区分 5	相談支援事業者名	相談支援センター S
障害福祉サービス受給者証番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	利用者負担上限額	〇〇円	計画作成担当者	〇〇 〇〇
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画作成日	〇年〇月〇日	モニタリング期間 (開始年月)	(3か月ごと) 〇年〇月～〇年〇月	利用者同意署名欄	三原 太郎 印
-------	--------	--------------------	-------------------	----------	---------

利用者及びその家族の生活に対する意向 (希望する生活)	毎日、生活介護事業所に通い、仲間と楽しく過ごす。好きなパソコンで絵を描いて、楽しむ。休みの日には、家族と一緒に買い物へ出かける。
総合的な援助の方針	生活介護事業所に通いながら、これまであまり考えてこられなかった将来のことを考えられていけるように支援していく。
長期目標	生活介護事業所で、活動の幅をもちながら、これからいろいろなことに挑戦していく。買い物以外にも、外出の幅がもてるよう、選択肢を提示していく。
短期目標	生活介護事業所の活動を1週間ごとに職員と振り返り、次の活動目標を立てていく。

優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	生活介護事業所に毎日通い、仲間と楽しく過ごしたい。	積極的に仲間と交流ができるように、自分から話しかけられるようになる。	3か月	生活介護 20日/月 集団のプログラムと個別のプログラムのバランスを考える。	絵を描くだけではなく、自分から仲間にも話しかけていく。	3か月	1週間ごとに職員と活動を振り返る。
2	パソコンでたくさん絵を描きたい。	無理をせず、緊張が強くなってきたときには、自分で休憩したいと言えるようになる。	3か月	生活介護 20日/月 何を描きたいのか、本人に確認しながら、題材となるものを提供していく。	描きたいものを職員に伝えて、題材探しに協力してもらう。	3か月	1週間ごとに職員と活動を振り返る。
3	休みの日には、家族と一緒に買い物へ出かけたい。	自分がどこに行きたいかを伝えられるように、生活介護事業所等で、いろいろな情報を得られるようにする。	3か月	土曜日もしくは日曜日のいずれかは、家族と買い物へ行けるように家族と相談する。	自分の行きたいところを家族に伝える。	3か月	次回のモニタリングでは、家族以外の人とも外出できるか、考えてみる。